



NETWORKING NEWS LETTER



CONTENTS

【特集】

今、あらためて ネットワーキング

オーガニックの
中心的価値とは何か？
……神足義博

2012の活動を振り返る
ネットワーキングニュースレター発刊！

【トピック&ニュース】
オーガニックショー2013
アースデイ2013

【INFORMATION】

事務局からのお知らせ

- 第5回通常総会開催のご案内
- 5月～6月の活動予定
- 賛助会員の拡大にご協力を
- 会費徴収のご案内 ●活動短報

MAY
2013

5月

プレ創刊号

みんなが集まった！



出会いを未来につなげよう オーガニックショー2013閉幕！

3月2～3日の2日間、東京浅草・都立産業貿易センターにて、第5回「オーガニックショーポラン広場東京2013」が開催されました。2011年2月26日の第4回から、あの大震災を経ての今回。ポラン広場東京に集う生産・製造者によるファーマーズガーデンを中心に、2日間の来場者、イベント参加者合わせてのべ約1000人のにぎやかなイベントとなりました。

【ファーマーズガーデン】

ポラン広場東京にご縁のある全国の生産者・製造者ほか41店の出店による展示即売のコーナー。見て、聞いて、食べて、触れる2日間と銘打ち、オーガニックにこだわった野菜や食べもの、エコ雑貨などの生産者が全国から大集合！

【全国縦断リレートーク】

北海道から九州・沖縄まで、全国のオーガニックにこだわった生産製造者、流通販売、消費者、関係者によるリレートーク。オーガニックショーへの意気込み、来場者へのメッセージなど、たくさんの来場者に想いを伝えました。

【ジャンル別クロストーク】

各分野の生産・製造者が、課題や地域の現状について語り合い、テーマごとに熱い議論がなされ、来場者と有機農業について考える機会を提供しました（有機農業編、有機米編、発酵醸造編、後継者編）。

【震災・原発震災下を共に生きる】

大震災から2年を経て、これからの時代、私たちはどのように食の安全を考えていったらよいのか。ゲストスピーカーは、

津波で被災された醸造元・八木澤商店の河野光枝さん（岩手県陸前高田市）、原発事故以降、子どもたちを放射線の被害から守る立場で活動続ける佐々木るりさん（福島県二本松市）、被曝と原発の問題を追う映画監督・鎌仲ひとみさん。体験に基づいた気づきにあふれた対談となりました。

【福岡伸一講演会】

「生命と食～有機食品を食べる意味～」をテーマに、青山学院大学教授の福岡伸一さん（生物学）による講演。「生命とは動的平衡にある流れである」として、機械的な生命論に異論を唱える立場から、一回性の、不可逆な時間の流れのなかで、生命が有機食品を摂取することの意味を紐解いてくれました。

……このほか、NPO法人チルドリンによるマママルシェや、青梅ブンプンの会による「箸・積み木づくりワークショップ」など、笑顔あふれる空間でした。最終日は「こだわりの一品抽選会」と銘打ち、各出店者のこだわりの一品を集めた抽選会を実施。計162人が参加して、2日間のイベントの良い締めくくりとなりました。ぜひこの出会いを未来に結んでいきたいと思います！





【特集】今、あらためてネットワーキング！ これからのネットワークとは？ ……神足義博



●ネットワーキングの20年

ポラン広場のネットワーキングに参集する人たちのオーガニックへの取り組みが自然形成されたのは、1975年以降のことでした。社会一般の認知はなかったけれど、気づいた人間たちが生産、流通、販売を始めていたその取り組みに「ポラン広場」という名前が与えられたのが1984年。そこからわれわれのネットワーキングが始まりました。

発足の2年後、一橋大学の金子郁容(かねこいくよう)さんが『ネットワーキングへの招待』という本を出されて、ご本人にお会いして、われわれはオーガニックの流通のネットワークをしていますといったら、「それをネットワーキングというんですよ」と言われた。ポラン広場の全国の生産製造、流通、販売に係わるものたちのネットワーキングというムーブメント(運動)が、はじまったわけです。

「われわれのネットワークは、自発性に基づき、大きくて小さく、メンバーそれぞれの主体性から来る多様な価値が並存し、差異を尊び、対立を許容

して、＜未解決＞ラベルを貼られた対立とそれを解決しようとする意思が共存し、一点に収束することを目的とせず、ゲームの得点を上げるような最適化原理の感覚を持ち、アンチテーゼでもメインストリーム(主流)でもない、変化と柔軟性に富む関係のプロセスである」「1つの点にすべてが収束することを目指さず、対立項が並存することを許容し、対立を自主的に解決できないでいる間はそれに「未解決」というラベルを貼って、そのまま「宙ブラリン」の状態のままにしておく。基本的に重要な問題について「未解決」ラベル付きの対立を解決しようとする意思がメンバーになくなったなら、現在のネットワークは解体して、組み合わせを替えて新しいネットワークを始めるしかないかもしれない。われわれのネットワークではそんなことが起こる…」(『ネットワーキングへの招待』(金子郁容著・中公新書刊)より引用)

ところが有機認証制度が生まれ、オーガニックに追い風が吹き始めたことで、

ポラン広場を単一の企業体に統合しようという考えが出てきました。合理的な考えでしたが、ネットワーキングは単一の組織体に収束していくものではないので、2004年にポラン広場20年のネットワーキングは、解消しました。

同時に、ポラン広場東京としての新たな歩みが始まりました。2005年には第1回となるオーガニックショーポラン広場東京(浜松町)を開催しました。2年の準備期間を経て、08年4月、NPO法人ポラン広場東京を設立しました。その後リーマンショック等社会情勢の変化に対応しつつ、11年の東日本大震災では東北の生産者がたいへんな被害を蒙り、復旧と復興へのアプローチは現在も続いています。

●ポランオーガニックショー ……ネットワーキングふたたび

東日本大震災、福島第一原発のメルトダウンから3年目の2013年。影響が懸念される同位体のひとつ、セシウム134の半減期(約2年)も過ぎようとしています。今後は、セシウム137の半減期約30年(影響が長期にわたる他の同位体も含め)を

2012

活動TOPIC

ポラン広場東京はファーマーズガーデン(4月/10月)、キッズウィークエンド～福島の子供も保養プログラム(4月/8月)、apbank fes 2012でのオーガニックフードエリア出店(7月/8月)、オーガニックショーポラン広場東京2013(3月)などのイベントを企画、実施したほか、東日本大震災義援金募集と東日本地域生産製造者復興支援の継続、5月のアースデイ福島での協賛・支援の呼びかけを進めました。



■ピースオンアース
[2012年03月10～11日]

311東日本大震災から丸一年のこの日、東京の日比谷公園にて、被害に遭われた方々を悼悼し、未来を共有する場をつくりました。市民アピールやトーク＆音楽プログラムなど、幅広い交わりの場となりました。ポラン広場東京も出店し、大勢の皆さんにご来場いただき、共に14:46を迎えました。



■ファーマーズガーデン“春”
[2012年04月21～22日]

EarthDayTokyo2012
「新しい未来は自分たちの手で」をテーマに開催されたアースデイ東京2012。この催しで、ポラン広場東京は、有機野菜・果物をはじめ、オーガニック食品から生活雑貨まで、全国の生産・製造者が集まる直売市「ファーマーズガーデン“春”」を企画し参加。多くの来場者にアピールしました。



■ap bank fes'12 つま恋
[2012年07月14～16日]

音楽プロデューサーの小林武史、Mr. Childrenの櫻井和寿を中心に結成されたBank Bandがホスト役となり、音楽ライブ、オーガニックフードや環境に配慮した商品の販売、トークショーも行われる環境野外フェスです。ポラン広場東京は、オーガニックフードエリアに2006年より参加しています。



どう生きていくかといった、長いスパンでのアプローチが求められます。その新たな始まりを企図して開催したのが、第5回目となった今年のポランオーガニックショーでした。今ふたたび、われわれの足元を見つめ直し、新たなネットワーキングを進めていきたいと思うのです。

●オーガニックの中心的価値とは何か？

ポラン広場東京が取り組んでいきたい方向性を言葉で表現するならば、それは「オーガニックの中心的価値とは何か？」ということに尽きるでしょう。『食の終焉』(ポール・ロバーツ著・ダイヤモンド社刊)という本が、近年のオーガニックの現代的な病理を良く描き出しています。

…オーガニックの中心的価値である「オルタナティブ性」が、収益性にしか目を向けない現在の政治・経済モデルに適合することを余儀なくされている／今後(アメリカの)オーガニック農業の大半は、単にその生産方式をアメリカ政府のオーガニック基準に適合させただけの、従来型の大規模農場と同じようなものにな

るだろう／オーガニック産業の大規模化・低コスト化の流れも加速し、元来オーガニック運動が重視してきた小規模農家による地産地消といった利点は、入り込む余地がなくなりそうだ／オーガニックが一般の市場に入り込むにつれ、オーガニック農家も市場原理にさらされる。しかも市場は、「地元産」や「小規模」であることに価格を上乗せする術を知らない……地元産や小規模農家が生産した食品に割増価格を払う消費者はまだほとんどいないからだ。

(『食の終焉』(ポール・ロバーツ著・ダイヤモンド社刊)より抜粋)

これから私たちは、製造生産者、流通、そして販売、生活消費者との間で、こうした現実をどう考えていけばいいのか、というような話し合いの場を持つ必要がありはしないでしょうか？

●ポラン広場東京のこれから

今、70年代からオーガニックを担ってきた方々は、おおそ60歳を中心にいらしゃって、後継者に橋渡しをする時期に

来ています。このとき草創のころのスピリッツをどう継承していくかということがあ

るでしょう。農の本来の姿から考えるなら、今のオーガニックにはまだまだ課題があるわけです。JAS有機があればいいとなると、思考が止まってしま

ています。ポラン広場東京に集うすべての皆さんと共有し、また新たな未来を前に進めたいことは、このようなことだと思われ

NETWORKING NEWS LETTER

ネットワーキング
ニュースレター
発行！

NPO法人ポラン広場東京に集う皆様の交流、ネットワーキングをより円滑に、タイムリーに、有機的に結ぶべく、皆様の活動や事務局の動向などを発信するペーパーメディア『ネットワーキングニ

ースレター』(月刊)を発刊します。活動のお知らせやレポート、会員紹介やトピックなどを掲載。毎月1日付で、前月の最終週にはお手元に届けの予定です。皆様の寄稿、執筆、レポートなど、お待ちしております。どうぞよろしくお願いいたしますm(_ _)m

寄稿、執筆、レポート
情報を充実させましょう！
ご協力お願いします



■キッズウィークエンド@青梅2
～福島子ども夏休み保養ツアー～
[2012年08月10～12日]

キッズウィークエンドは、原発震災により、外遊びや運動に制約を受けている福島の子どもたちをを招待し、思い切り遊んで楽しんもらおうと企画した保養バスツアーです。ラフティングボート体験／バーベキュー／唄・打楽器・キッズヨガ／マイ箸ワークショップ／スラックライン・ハンモック体験／すいか割り／



流し素麺／花火／ジブリ美術館と盛りだくさんの2泊3日。参加した34名の子どもたちには楽しんでもらえたと思います。多くの協賛、協力、物品提供、ボランティアの皆さんの心づくしによって成立しました。

■ap bank fes'12 みちのく
[2012/08/18～19日]

今年2回目となるapbank fes'12の会場は城県柴田郡川崎町、国営みちのく杜の湖畔公園。東北での初開催です。宮城田園ポ



クを使用したソーセージと、青森・新農業研究会の農薬不使用トマトを中心に、18日には宮城田園パークの生産者・久保畜産の久保さん親子が、19日には後継者の久保夫妻が参加し、自分たちが育てた豚の肉で作ったソーセージなどを熱心に販売してくれました。

■アースガーデン'秋'
[2012/10/27～28日]

オーガニック＆エコロジカルなライフスタイルをキーワードに

2013
に結んでいこう！



開催される、カルチャー・クリエイティブイベント「アースガーデン'秋」」。有機野菜をはじめ、オーガニック食品から生活雑貨まで、ポラン広場東京のネットワークに参加する全国の生産・製造者が代々木公園に集まり、直売市場「ファーマーズガーデン」を実施しました。

寒さを元気ではねのけた！ ファーマーズガーデン“春”に15社。

“今動く！
～子どものために、
未来のために～”

アースデイ東京2013
@代々木公園



4月20、21日、東京代々木公園にて、アースデイ東京2013が開催されました。ポラン広場東京では恒例のファーマーズガーデン“春”を展開。肌寒い曇り空に雨混じりのお天気でしたが、生産者・製造メーカーのかけ声に誘われ、人波が途切れることがありません。参加15社それぞれが工夫を凝らし、会場においしい香りを振りまいていました……樽入りのもろみから梔子搾りのお醤油を絞って(弓削多醤油)／鉄板で焼きたてソーセージ(湘南びゅあ)／無添加さつま揚げ(カワノすり身店)／お米、お餅の磯辺焼き(いなほ新潟)／本醸造み

りんと梅酒試飲(角谷文治郎商店)／古代米の展示販売(古代米浦部農園)／在来種のお豆入りでんぷんだんご(べにや長谷川商店)／こんにゃくの醤油田楽(池谷)／国産ザーサイのお漬物(遠忠商店)／インカインチオイル(アルコイリス)、ベトナム天日塩カンホアの塩、ナチュラル馬油など(日本創健)、PAXナチュロシシャンプーなど(太陽油脂)。

ポラン広場東京事務局のブースでは、要ファームの野菜、ハーブスマン福山さんのフレッシュハーブ、ナチュラル農究のりんご、肥後あゆみの会の甘夏、八木澤商店のつゆ、祝島のびわ葉茶、ポランのミルクチョコレートなどの展示販売を行いました。

4月19日から2泊3日で実施された、福島の子どもたちへの保養ツアー「KIDS WEEKEND」(主催・アースデイ東京2013)では、青梅ブンブンの会が約40名の子どもたちを受け入れ、ポラン広場東京が協力・支援しました。



NPO法人 ポラン広場東京

2013年度(第5回)通常総会 開催のご案内

日時:2013年5月18日(土)午後1時～午後5時

場所:早稲田奉仕園

東京都新宿区西早稲田2-3-1/TEL:03-3205-5411

東京メトロ東西線 早稲田駅より徒歩約5分

【議事次第】2012年度事業報告／収支決算報告／2013年度事業計画案／収支予算案／役員選任／全員討議:オーガニックの健全な発展を促し、了解し納得しあうネットワークについて考える

●懇親会:午後5時～午後7時(会費3,000円程度)

事務局からのお知らせ

活動予定

- 5月11日(土) さよなら原発 エネルギーシフト ウォーキング(2) 羽村市～福生市
http://www.polano.org/11_networking/130311_action.html
- 5月18日(土) NPO法人ポラン広場東京総会
- 5月下旬 ポラン広場東京の自然学校・初夏編
- 6月 8日(土) さよなら原発 エネルギーシフト ウォーキング(3) 福生市～昭島市
http://www.polano.org/11_networking/130311_action.html

賛助会員の拡大にご協力を!

ポラン広場東京は、2011年施行の「新寄付税制」と2012年4月施行の「改正NPO法」に基づき、「認定NPO法人」の取得を目指します。認定取得の主な要件は「年平均100名以上の寄付者がいること」です。賛助会員・年会費は寄付金と見做されるので、賛助会員100名以上で要件を満たします。

会費徴収のご案内

新年度にあたり、年会費更新について下記の通りご案内いたします。手続きをよろしくお願いいたします。

- 年会費額
正会員(個人): 10,000円
正会員(団体): 20,000円
賛助会員(個人): 5,000円
賛助会員(団体): 10,000円
※請求書をご希望の場合は事務局までご一報ください
- 振込先
口座名義(共通)
特定非営利活動法人ポラン広場東京
下記いずれかの口座にお振込み願います(恐れ入りますが、振込手数料をご負担ください)……

ゆうちょ銀行
(口座番号) 10040-79609311
楽天銀行マーチ支店(0036-211)
普通7026518
りそな銀行東青梅支店(0010-771)
普通4403362

- 払込期日
2013年5月31日(金)

活動短報

3月 2～3 オーガニックショー ポラン広場東京 2013
10 NPO法人TEAM二本松(福島県二本松市)「青空市場」に義援物品をお届け
20 NPO法人TEAM二本松(福島県二本松市)「青空市場」に義援物品をお届け

4月 1 商品取扱い基準・被曝対策編(飲食料)を改定
10 NPO法人TEAM二本松(福島県二本松市)「青空市場」に義援物品をお届け
19～21 キッズウィークエンド～福島子ども保養ツアー@青梅 3開催
20～21 アースデイ東京2013 ファーマーズガーデン“春”
20 NPO法人TEAM二本松(福島県二本松市)「青空市場」に義援物品をお届け

じむきよく NOTE



ご縁をいただき、4月よりNPOの情報発信ほかを担当することになりました竹内周(たけうちあまね)と申します。「オーガニックの中心的価値は何か?」。その答えを見出すべく、理念と事業を、理想と現実を、オフィスと自宅を行きつ戻りつして、離れ離れにならず、野の花に学び、かるやかに(そしてハメをはずさぬよう気をつ

けて)、ネットワークの充実ほか貢献していきたいと思ひます。まずは郷に入っては郷に従えで、前職のクセを落としつつ、親和してまいります。とはいえ大変な時代ですから、早く役に立つようがんばらないといけません。ご存知の方もそうでない方も、叱咤激励、どうぞよろしくお願いします。

NPO法人ポラン広場東京 ネットワークニュースレター

5月プレ創刊号

2013年5月1日発行
(毎月1日発行)



特定非営利活動法人 ポラン広場東京
〒198-0052東京都青梅市長淵4-393-11
TEL:0428-22-6821 FAX:0428-25-1880
E-mail:office@polano.org